

令和4年度 教育課程特例校 実施計画

1 教育課程特例校の実施理由及び期間

(1) 実施理由

平成29年度に文部科学省研究開発学校指定を受け、新教科「Globe」を創設した。その取組から、顕著な成果に対して課題も浮かび上がった。

具体的には、①小学校3年生からの外国語活動とのより円滑な接続をはかるために、幼稚園から小学校1、2年生で使用する副教材を改善すること、②幼・小・中の4～15歳までの教育期間に応じた効果の測定及び検証を行うこと、③教科書を十分に活用しコミュニケーション能力を高めることと、ローカル、グローバルの要素を適切に配分したカリキュラム改善を図ること、④教科等横断的な視点や合科による視点により、各教科等のSDGs要素との関連を高めた「Globe別葉」を再編成すること。

そのため、本特例校指定により、これらの課題について、実践的に検証し、教育課程・指導方法の改善、充実を図る。

(2) 実施期間

3年間 令和4年4月～令和7年3月

2 課題

文化や価値観などの異なる人々と共生社会を築き、多様な社会環境や国際社会で活躍できる人材としての資質・能力を育成するために、幼、小、中の教育段階における教科等横断的な視点から編成する教育課程の改善、充実。

3 取組の概要

自国や地域の文化や伝統への理解を深めるとともに、異なる習慣や文化をもった人々と共に生きていくために（多文化共生）、「人間尊重の精神を基調とする国際性」を養い、「国際社会に通用するコミュニケーション能力」の向上を図る教科として、国際教育における初等中等教育の一体的な教育課程の在り方を探る。

具体的には、①新教科「Globe」の指導内容、指導方法、評価方法の在り方、②幼・小・中における国際教育や英語教育（コミュニケーション能力）の接続の在り方、③外国語に慣れ親しみ、異文化理解を深めるための地域人材（21か国のJETスタッフ、10か国の日本語学校留学生）の有効的な活用について取り組む。

4 取組の目的

(a) 目的

新設教科『Globe』のカリキュラムを土台として、幼・小・中の学校（園）段階間の連携による学びの接続や教科等横断的な視点、合科による視点を強化し、指導内容、指導方法及び評価方法を体系的に構築することにより、人間尊重の精神を基調とする国際性を身に付け、国際社会で活躍できる人材を育成する。

(ア) 課題解決のための手段

1 幼～小2副(読)教材の改善

- ① 小学校3、4年生のアンケート調査を分析し、幼稚園から小学校1、2年生の指導内容や指導方法を改善することで、外国語活動への円滑な接続の在り方を研究する。
- ② 副教材の整理（データベース）を行う。

2 幼～中（4～15歳）までの効果測定

- ① Globe カリキュラムをコミュニケーション要素（外国語・英語）だけでなく、ローカル・グローバル要素の内容やねらいについて、幼・小・中・（高）の接続を意識して改善し、子供一人一人の変容について分析する。
- ② 東川町は、大学生に町独自の奨学金を支給している。これにより大学進学者を把握できる。効果測定として高校卒業後の進路について追跡・アンケート調査を行うことにより、Globe 目標の達成状況を分析する。

3 新学習指導要領に対応したカリキュラム改善

- ① 教科書を十分に活用しコミュニケーション能力を高めることと、ローカル、グローバルの要素を適切に配分したカリキュラム改善を図る。
- ② 地域教材、地域人材を活用した体験活動を発達段階に応じて効果的に位置付けた更なるカリキュラムの工夫と改善を行う。
- ③ これまで行ってきた複式学級における同内容異程度指導や、小学校6年生と高校生等の異校種間交流を更に充実させ、異年齢・異学年集団による学習や指導の在り方のモデルを示す。

4 SDG s 要素との関連を高めた「Globe 別葉」の改善

- ① 「Globe 別葉」の様式を改善し、他教科との関連のあり方を明確にして相乗効果をまとめる。別葉には、SDG s との関連を示し、他教科との連携の重点とする。また、合科的な内容については、教科の時数の見直しや他教科・他領域と合わせた単元構成を作成する。
- ② 他教科・他領域における Globe の教育効果については、教職員アンケート、児童生徒のアンケート及び学力テストから分析する。

(b) 特別の教育課程編成

別紙参照

(c) 取組の成果の評価方法

1 幼～小2副(読)教材の改善、完成

- ① 児童、生徒のアンケート調査の分析
- ② 教職員、JET s、地域人材、関係機関への質問調査

2 幼～中（4～15歳）までの効果測定

- ① アンケートから子供一人一人にどのような変化が表れているか分析
- ② 東川町は、大学生に町独自の奨学金を支給している。これにより大学進学者を把握できる。効果測定として高校卒業後の進路について追跡・アンケート調査を行う。これにより、Globe 目標の達成状況を分析する。
- ③ GTECJunior、英検 IBA、全国学力・学習状況調査の客観的資料の分析

3 新学習指導要領に対応したカリキュラム改善

- ① 児童生徒、教職員、JET s、地域人材、関係機関へのアンケート調査・分析
- ② 運営指導委員会、地域住民、保護者へのアンケート調査

<p>4 SDG s 要素との関連を高めた「Globe 別葉」の改善</p> <p>① 「Globe 別葉」の完成</p> <p>② 教職員アンケート、児童生徒のアンケート及び学力テストで分析する。</p>

5 年次実施計画

<p>第1年次 (R4年度)</p>	<p>3・4年生のアンケート結果の分析と幼～小学校2年生までのカリキュラムと副教材の見直し・完成</p> <p>各種アンケートの内容検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート ・教職員アンケート ・保護者アンケート ・授業に関わった地域人材・JET s へのアンケート ・地域住民へのアンケート ・大学生（町独自の奨学金制度利用）へのアンケート ・運営指導委員会、関係機関（コーディネーター）へのアンケート <p>アンケートの実施及びアンケート結果の分析</p> <p>GTECJunior、英検 IBA の実施結果分析・全国学力・学習調査の結果分析</p> <p>教科等横断的な視点や合科による視点による「Globe 別葉」の形式検討</p> <p>中学校のカリキュラム再編成</p> <p>ローカル・グローバル要素の項目別評価基準表作成</p> <p>カリキュラムの運用と見直し・「LGC 配分表」の運用と見直し</p>
<p>第2年次 (R5年度)</p>	<p>幼～小学校2年生までのカリキュラムと副教材の実践と見直し (実践発表会の開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校における授業公開 <p>各種アンケートの実施・結果分析</p> <p>教科等横断的な視点や合科による視点による「Globe 別葉」の運用・改善</p> <p>ローカル・グローバル要素の「項目別評価基準表」運用・見直し</p> <p>カリキュラムの運用と見直し・「LGC 配分表」の運用と見直し</p>
<p>第3年次 (R6年度)</p>	<p>幼～小学校2年生までのカリキュラムと副教材の実践と検証</p> <p>実践発表会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校における授業公開 <p>各種アンケートの実施及びアンケート結果分析</p> <p>教科等横断的な視点や合科による視点による「Globe 別葉」の運用と成果の分析</p> <p>ローカル・グローバル要素の「項目別評価基準表」の運用と成果分析</p> <p>カリキュラムの運用・「LGC 配分表」の運用と成果と課題の検討</p>

6 年次評価計画

<p>第1年次 (R4年度)</p>	<p>各種アンケートの実施～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート ・教職員アンケート ・保護者アンケート ・授業に関わった地域人材・JET s へのアンケート
------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民へのアンケート ・大学生（町独自の奨学金制度利用）へのアンケート ・運営指導委員会、関係機関（コーディネーター）へのアンケート <p>アンケート結果の分析～1月 GTECJunior、英検 IBA の実施と結果分析～1月 全国学力学習調査の結果分析～10月 調査結果を踏まえた改善にかかる運営指導委員会の評価・指導・助言 ～2月</p>
第2年次 (R5年度)	<p>（実践発表会による外部評価の実施～10月）</p> <p>各種アンケートの実施～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート ・教職員アンケート ・保護者アンケート ・授業に関わった地域人材・JET s へのアンケート ・地域住民へのアンケート ・大学生（町独自の奨学金制度利用）へのアンケート ・運営指導委員会、関係機関（コーディネーター）へのアンケート <p>アンケート結果の分析～1月 GTECJunior、英検 IBA の実施と結果分析～1月 全国学力・学習状況調査の結果分析～10月 調査結果を踏まえた改善にかかる運営指導委員会の評価・指導・助言 ～2月</p>
第3年次 (R6年度)	<p>実践発表会による外部評価の実施～10月</p> <p>各種アンケートの実施～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート ・教職員アンケート ・保護者アンケート ・授業に関わった地域人材・JET s へのアンケート ・地域住民へのアンケート ・大学生（町独自の奨学金制度利用）へのアンケート ・運営指導委員会、関係機関（コーディネーター）へのアンケート <p>アンケート結果の分析～1月 GTECJunior、英検 IBA の実施と結果分析～1月 全国学力・学習状況調査の結果分析～10月 アンケート結果の総括～1月 調査結果を踏まえた改善にかかる運営指導委員会の評価・指導・助言 ～2月</p>

【様式1】別紙1-1 教育課程表（小学校及び義務教育学校前期課程）

授業時数を変更する教科等について、黄色背景セルの値を修正してください。

学年		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
合計		870 (850) +20	930 (910) +20	980 (980) 0	1015 (1015) 0	1015 (1015) 0	1015 (1015) 0
各教科の授業時数	国語	306 (306) 0	315 (315) 0	245 (245) 0	245 (245) 0	175 (175) 0	175 (175) 0
	社会	-	-	70 (70) 0	90 (90) 0	100 (100) 0	105 (105) 0
	算数	136 (136) 0	175 (175) 0	175 (175) 0	175 (175) 0	175 (175) 0	175 (175) 0
	理科	-	-	90 (90) 0	105 (105) 0	105 (105) 0	105 (105) 0
	生活	87 (102) -15	90 (105) -15	-	-	-	-
	音楽	68 (68) 0	70 (70) 0	60 (60) 0	60 (60) 0	50 (50) 0	50 (50) 0
	図画工作	68 (68) 0	70 (70) 0	60 (60) 0	60 (60) 0	50 (50) 0	50 (50) 0
	家庭	-	-	-	-	60 (60) 0	55 (55) 0
	体育	102 (102) 0	105 (105) 0	105 (105) 0	105 (105) 0	90 (90) 0	90 (90) 0
	外国語	-	-	-	-	0 (70) -70	0 (70) -70
特別の教科である道徳の授業時数		34 (34) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0
外国語活動の授業時数		-	-	0 (35) -35	0 (35) -35	-	-
総合的な学習の時間の授業時数		-	-	35 (70) -35	35 (70) -35	35 (70) -35	35 (70) -35
特別活動の授業時数		34 (34) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0
Globe		35	35	70	70	105	105

【様式1】別紙1-2 教育課程表（中学校、義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程）

授業時数を変更する教科等について、黄色背景セルの値を修正してください。

学年（中学校及び中等教育学校）		第1学年	第2学年	第3学年
学年（義務教育学校）		第7学年	第8学年	第9学年
合計		1015 (1015) 0	1015 (1015) 0	1015 (1015) 0
各教科の授業時数	国語	140 (140) 0	140 (140) 0	105 (105) 0
	社会	105 (105) 0	105 (105) 0	140 (140) 0
	数学	140 (140) 0	105 (105) 0	140 (140) 0
	理科	105 (105) 0	140 (140) 0	140 (140) 0
	音楽	45 (45) 0	35 (35) 0	35 (35) 0
	美術	45 (45) 0	35 (35) 0	35 (35) 0
	保健体育	105 (105) 0	105 (105) 0	105 (105) 0
	技術・家庭	70 (70) 0	70 (70) 0	35 (35) 0
	外国語	0 (140) -140	0 (140) -140	0 (140) -140
特別の教科である道徳 の授業時数		35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0
総合的な学習の時間 の授業時数		30 (50) -20	50 (70) -20	50 (70) -20
特別活動の授業時数		35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0
Globe		160	160	160